



平成29年度第3回 総合教育会議

日時 2018年1月31日(水) 午後1時30分

場所 本庁舎3階 会議室3-3

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 議事録署名人の決定
- 4 議事
 - (1) 藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムについて
 - (2) その他
- 5 閉会

出席者名簿（敬称略）

教育長	平 岩 多 恵 子
教育委員会委員	中 林 奈 美 子
	小 竹 伊 津 子
	大 津 邦 彦
	飯 島 広 美
市 長	鈴 木 恒 夫

関係職員	教育次長	小 林 誠 二
	教育部長	村 上 孝 行
	教育総務課長	神 原 勇 人
	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室長	松 崎 正 一 郎
	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室室長補佐	秦 野 貴 史
	生涯学習総務課主幹	山 口 雄 賢
	生涯学習総務課主幹	井 出 祥 子
	教育指導課長	松 原 保
	教育指導課指導主事	坪 谷 麻 貴

事務局	企画政策部長	渡 辺 悦 夫
	企画政策課長	佐 保 田 俊 英
	企画政策課主幹	須 藤 和 久
	企画政策課主幹	諏 訪 間 光

平成29年度第3回総合教育会議席次

(事務局)	鈴木市長		平岩教育長	
	渡辺部長	小竹委員		中林委員
	佐保田参事			飯島委員
	須藤主幹	大津委員		
諏訪問主幹				

小林次長	村上部長	神原参事			
------	------	------	--	--	--

松崎室長	秦野室長補佐	山口主幹	井出主幹	松原参事	坪谷指導主事
------	--------	------	------	------	--------

| 出入口 |

2018年1月31日
総合教育会議資料1

藤沢市オリンピック・パラリンピック 教育プログラム

2017年（平成29年）12月

藤沢市
藤沢市教育委員会

目 次

	ページ
1 策定の目的	1
2 対象	1
3 対象期間	1
4 藤沢市教育プログラム体系図	3
5 基本方針（目指すレガシー）	4
6 取組の視点	4
7 取組施策	5
8 具体的実践の考え方	6

1 策定の目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）のオリンピック・セーリング^{※1} 競技開催に向けて、市民や子どもたちの心身の健やかな成長に寄与することを目的として、東京2020大会を一過性のスポーツイベントとするのではなく、大会の開催を契機としたスポーツと教育及び文化を融合させた活動により、有形・無形のレガシー^{※2}を創出し、次の世代に継承していけるような取組を進めていく必要があります。

「オリンピック憲章」では、オリンピズムは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学であり、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものであるとしています。そして、その目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会を奨励することを目指し、スポーツを人類の調和の取れた発展に役立てることにあります。

東京2020大会がもたらす感動や共生社会の推進をはじめとする効果を本市の価値として創造し、次の世代に継承していくことが重要なため、子どもたちをはじめ、すべての市民が健やかで笑顔あふれるよう、本市がこれまで取組を進めている教育活動を中心に、藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラム（以下「藤沢市教育プログラム」という。）を策定するものです。

※1 セーリング

昭和39年の東京大会においては「ヨット」と呼ばれていましたが、平成12年のシドニー大会から名称が「セーリング」に変更されました。

※2 レガシー

藤沢市教育プログラムでは、長期にわたり継承・享受できるオリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす社会的・経済的・文化的な未来遺産のことをいいます。

2 対象

学校教育においては、藤沢市立の小学校、中学校及び特別支援学校を対象とします。なお、市内の私立小中学校等に対しても、藤沢市教育プログラムを情報提供するなど、本市における東京2020大会による効果をより一層高めるよう、関係者と連携を図っていくこととします。

社会教育においては、市内で社会教育活動に参加するすべての方々を対象とします。

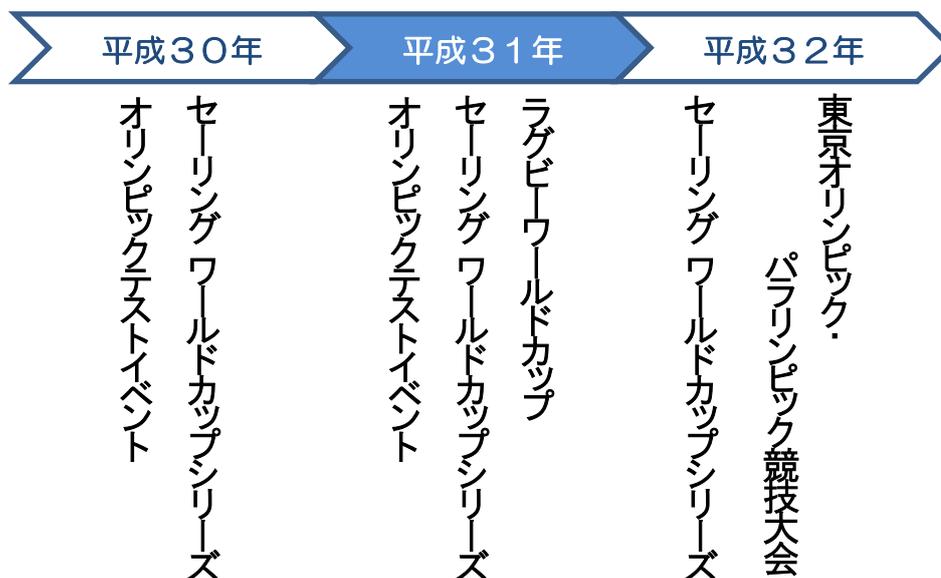
3 対象期間

平成30年度から平成32年度までの3年間とします。

なお、平成33年度以降についても、東京2020大会がもたらした価値を踏まえた様々な取組を発展させながら継承していくこととします。

【参考】

対象期間中の主な大会実施予定



※オリンピックテストイベントは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）が主催、セーリング ワールドカップシリーズは、ワールドセーリング（国際セーリング連盟）が主催する大会です。

※平成30年のセーリング ワールドカップシリーズは、オリンピックのテストを兼ねる予定です。

※セーリング ワールドカップシリーズは、平成30年から平成32年まで、3年連続で江の島において開催されます。

4 藤沢市教育プログラム体系図

【基本方針】

ふじさわ教育大綱
【学びの環・人の和・元気の輪】

【取組の視点】

- A オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の理解
- B 多様性に関する理解
- C 国際社会への理解
- D 地域社会への理解

【取組施策】

- ①気運醸成・スポーツ推進に関する取組
- ②ボランティアマインドに関する取組
- ③健康増進に関する取組
- ④文化芸術に関する取組
- ⑤環境に関する取組
- ⑥共生社会に関する取組
- ⑦安全・安心に関する取組

5 基本方針（目指すレガシー）

本市では、学びを通して幸せなまちをつくりたいという願いをもって、誰もが学びのネットワークを広げ（学びの環）、すべての人々が和やかにつながり（人の和）、豊かな心で健やかな毎日を過ごしていけるように（元気の輪）、藤沢市総合教育会議において「ふじさわ教育大綱」が策定され、本市の教育の基本理念となっています。

このことから、藤沢市教育プログラムを推進するに当たり、「ふじさわ教育大綱」を基本方針とします。

- 1 いつでもどこでも誰でも学ぶことができ、学んだことを地域でいかし自らの成長に結ぶ「学びの環」を広げましょう。
- 1 マルチパートナーシップに基づき、地域社会で共に生き支えあう「人の和」を広げましょう。
- 1 心身の体力を育み、豊かな心で、自他を尊重して行動し、健やかな毎日を過ごす「元気の輪」を広げましょう。

（「ふじさわ教育大綱」から抜粋）

6 取組の視点

組織委員会は、様々な関係団体と連携・協働し、若い世代を鼓舞する取組を一体となって継続的に行う「東京2020教育プログラム『ようい、ドン！』」を、全都道府県において展開しています。オリンピック・パラリンピック教育を通じて、多くの若者が自らの目標を持って、自らのベストを目指す意欲を持ち、多様性を理解し、豊かな国際感覚を備えることを目標としています。

組織委員会が掲げる目標を視野に入れ、学校において教育活動を進めるとともに、市域全体に社会教育としてオリンピック・パラリンピック教育を普及していくに当たり、重視する視点は次の4点とします。

A オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の理解

チャレンジや努力を尊ぶ態度、ルールへの尊重、フェアプレーの精神など、オリンピック・パラリンピックやスポーツを通して様々な価値を学び、豊かな心を育む。

B 多様性に関する理解

子ども、高齢者、障がい者、国籍、民族等への理解や人権の尊重などを通じ、共生社会の実現を目指す。また、海外の文化や社会に関する理解を通じて、多文化共生の意識を高める。

C 国際社会への理解

東京2020大会までの経験を通じて、国際社会への理解を深めるとともに、地域社会における国際交流等に、主体的、積極的に参画する意識を高める。

D 地域社会への理解

みんながつながり、つながりが広がっていくよう、学校・家庭・地域が連携し、地域社会において積極的に人と関わっていく態度を養う。

7 取組施策

市民、関係団体が一体となった市民協働組織「未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会」では、レガシーとして創出したい取組内容を10項目掲げており、この中から学校教育、社会教育に関連が深い7項目を取組施策とします。

①気運醸成・スポーツ推進に関する取組

東京2020大会に向けて気運を高める取組を進めるとともに、様々なスポーツを体験することにより、フェアプレーやチームワークの精神を身につけることができるよう、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」取組を推進します。

②ボランティアマインドの醸成に関する取組

社会貢献や他者を思いやる心、「おもてなし」の精神等を育むボランティアマインドを醸成することは、地域における人の和やマルチパートナーシップを推進していく上で不可欠な要素です。ボランティア活動などへの参加を通じて、ボランティアマインドを醸成する取組を推進します。

③健康増進に関する取組

スポーツ等を通じた健康づくりや保健学習、薬物乱用防止教室等において、健康増進等にもたらす効果や薬物等が身体に及ぼす悪影響を学ぶことや、誘惑に負けない心を育む取組を推進します。

④文化芸術に関する取組

長い年月を経て育まれた日本の文化芸術や歴史の再認識と継承を図るとともに、海外から訪れる方々をおもてなしの心でお迎えするため、様々な国や地域の文化・風習の理解促進を図ります。

⑤環境に関する取組

オリンピック・パラリンピック競技大会の理念の一つである環境への配慮や環境保全による持続可能な循環型社会の学習をすることにより、環境保全

活動の取組を推進します。

⑥共生社会に関する取組

オリンピズムの目的である人間の尊厳保持と平和な社会を目指し、あらゆる人の人権が尊重される社会の実現に向けて、障がいの有無、国籍、民族等の違いを超えた、共生社会の取組を推進します。

⑦安全・安心に関する取組

防犯、交通安全、交通ルールなどの教育により安全対策の充実を図ります。また、災害への適切な対処ができるよう、防災教育を進めるとともに、地域諸団体と一体となった連携協力体制の充実を図ります。

8 具体的実践の考え方

取組施策に関連する教育活動は、大きく分けて学校教育と社会教育があります。

学校教育においては、教育課程に位置づけて実施する取組を対象とし、社会教育においては、公民館や生涯学習大学、図書館等で行われている事業、生涯スポーツ活動に関する事業等を対象とします。

具体的に実践する事業は、これまでに取組の実績がある事業と東京2020大会を契機として新たに実施する事業があります。学校教育においては、スポーツ庁が作成した「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」や神奈川県教育委員会が作成した「かながわオリンピック・パラリンピック教育学習教材」等の活用をはじめ、現在行っている授業や行事等において、「取組の視点」に合致する内容を扱っているものは、オリンピック・パラリンピック教育として位置づけて実施することもできます。

また、学校教育、社会教育ともに「東京2020参画プログラム」の活用が可能であるため、東京2020大会に向けて藤沢市全体で盛り上げていくとともに、子どもたちや市民の要望、地域特性にあわせて、様々な工夫ができるものです。

これらを踏まえ、別冊「藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムの実践に向けた参考事例集」において、事業例を提示しますので、学校教育、社会教育に携わる関係者については、オリンピック・パラリンピック教育に向けた参考事例として活用してください。

また、関係者それぞれが実施した事業については、その後の取組にいかせるよう、実績等を共有していきます。

以 上

取組施策事業例 問い合わせ先等一覧

2018年1月現在

	取組施策	事業例	内容	問い合わせ先	連絡先等	申し込み時期	備考
①	気運醸成・スポーツ推進に関する取組	オリンピック・パラリンピック競技体験	オリンピックやパラリンピアン等を講師に招き、実際にオリンピック・パラリンピックの競技を体験する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		セーリング体験	江の島(湘南港)がオリンピック・セーリング競技の会場となっていることから、実際に子どもたちにセーリングを体験できる機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室等			
		キャリア教育プログラム	イメージマップ等を使用したアクティブ・ラーニング教材の提供	パナソニック株式会社	「パナソニック教育支援プログラム」運営事務局に直接連絡 TEL 06-6226-8288	随時	無料
		聖火リレーへの参画	オリンピック開催前に行われる聖火リレーに、子どもたちが参画できる場面を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		選手(オリンピック・パラリンピアン含む)との交流	セーリング競技大会開催時のレセプションや事前キャンプなどの機会を捉え、海外の選手やコーチなどの関係者などと交流の機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		藤沢市ゆかりの選手の応援	東京2020大会を目指す藤沢市ゆかりの選手を、様々な手法により応援する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		セーリング競技観戦	東京2020大会に向けて、テストイベントやセーリング ワールドカップシリーズが開催されるため、セーリング競技の観戦を通して、気運醸成を図る。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		オリンピック・パラリンピック観戦	オリンピック・パラリンピックを観戦することにより、フェアプレーやチームワークの精神を学ぶ。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		セーリング学習	パンフレット等を活用して、セーリングのルールや種目などを学習し、また、競技会場である湘南港を見学する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
	オリンピック英語学習	東京2020大会公式スポンサーによる、オリンピック精神などについて英語で学ぶ出前授業	EF Education First Japan Ltd (イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社)	メール又は電話で直接連絡 メール marketing@efjapan.com TEL 03-5774-6206	開催2カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ2時間) 無料	
②	ボランティアマインドの醸成に関する取組	セーリング競技大会支援	江の島(湘南港)が会場となるセーリング競技大会(オリンピックテストイベント、セーリングワールドカップシリーズ等)などにおいて、子どもたちがボランティアとして活動できる機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		東京2020大会のオリンピック・セーリング競技支援	東京2020大会のオリンピック・セーリング競技において、子どもたちがボランティアとして活動できる機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
③	健康増進に関する取組	くすりの授業	薬剤師が各学校へ出向き、薬の正しい使い方、薬の副作用等薬に関する授業を実施する。アンチドーピングに対する啓発授業等も実施予定	藤沢市薬剤師会	藤沢市薬剤師会に連絡 TEL 0466-22-8664	随時	無料
		しょうゆ塾	東京2020大会公式スポンサーによる、しょうゆについて学びながら、「食べ物」の大切さなどから健康を学ぶ出前授業	キッコーマン株式会社	ホームページから直接申し込み https://www.kikkoman.com/jp/shokuiku/activity/school/	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分) 無料
		食育セミナー	東京2020大会公式スポンサーによる、健康な食生活への関心を高めるオリンピック・パラリンピックを通じた食育に関する出前授業	株式会社明治	コミュニケーション課に直接連絡 TEL 03-5677-6027(平成30年1月22日から)	開催1カ月以上前	1クラス以上の申し込み(1コマ45分) 無料(一部材料費の負担あり)
④	文化芸術に関する取組	鑑賞や歌唱・演奏指導	声楽家や音楽家等が学校を訪問し、鑑賞や歌唱・演奏指導を通し、児童・生徒の情操教育に寄与する。	公益財団法人藤沢市みらい創造財団	芸術文化事業課に直接連絡 TEL 0466-28-1135	毎年4月から5月中旬まで(その他の時期については要相)	無料
		文化系サークル等との連携事業	公民館において活動している文化系サークル等と連携し、日本の文化・歴史を発信するとともに、多世代間交流の場としても活用する。	生涯学習総務課			
⑤	環境に関する取組	みどりの授業	東京2020大会公式スポンサーによる、地球温暖化防止や生物多様性について学ぶ出前授業	東京海上日動火災保険株式会社	神奈川支店湘南平塚支社に直接連絡 TEL 0466-38-0123	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分から) 無料
		おどろき!なるほど!ガスワールド	東京2020大会公式スポンサーによる、都市ガスや燃料電池等についての出前授業。その他、教材の提供もあり。	東京ガス株式会社	ホームページから直接申し込み http://www.tokyo-gas.co.jp/kids/	開催2カ月以上前 (「育むエコ食」は年度当初の申し込み)	人数については要相談(1コマ45分から) 無料(「育むエコ食」については、食材を学校で用意)
		そらエコ教室	東京2020大会公式スポンサーによる、航空機運航の中で実践している二酸化炭素排出量削減の取組などを紹介する環境教育に関する出前授業	日本航空株式会社(JAL)	ホームページから直接申し込み https://www.jal.com/ja/csr/soraiku/	開催月の3カ月前の月末	30人以上で申し込み(1コマ45分から) 無料(交通費実費負担あり)
		環境教育出前授業	東京2020大会公式スポンサーによる、国内の小中学校を対象とした環境教育に関する出前授業	富士通株式会社	ホームページから直接申し込み http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/activities/education/index.html	4月に左記ホームページに申し込み期間が掲載される。年度当初に申し込みの必要あり	10人~40人まで(クラス単位での申し込み、1コマ2時間) 無料
⑥	共生社会に関する取組	パラリンピック学習	国際パラリンピック委員会が開発した教材「I'm POSSIBLE」を活用したパラリンピック学習	日本パラリンピック委員会/日本財団パラリンピックサポートセンター	I'm POSSIBLE日本版事務局 iampossible@parasapo.tokyo		組織委員会ホームページから教材のダウンロードが可能 https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/education/teaching-material/iampossible/
		ユニバーサルデザイン出前授業	東京2020大会公式スポンサーによる、ユニバーサルデザインを通じて多様性に関する理解を深めるための出前授業	株式会社LIXIL	ホームページから直接申し込み http://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/future/education/ed_universal.html	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ2時間) 無料
		パラリンピック観戦	パラリンピックを観戦することにより、競技の楽しさや迫力を感じるとともに、卓越性や可能性を学び、多様な価値を学ぶ機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
		パラスポーツの体験	外部指導者を招いて、パラスポーツの種目を体験する機会を創出する。	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
⑦	安全・安心に関する取組	あんしん教室	東京2020大会公式スポンサーによる、防犯をテーマにした小学生向けの出前授業	総合警備保障株式会社(ALSOK)	藤沢営業所に直接連絡 TEL 0466-31-0263	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分) 無料
		ぼうさい授業	東京2020大会公式スポンサーによる、防災をテーマにした小学生向けの出前授業	東京海上日動火災保険株式会社	神奈川支店湘南平塚支社に直接連絡 TEL 0466-38-0123	開催1カ月以上前	クラス単位での申し込み(1コマ45分) 無料

藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムについて

【オリンピックの精神(オリンピズム)】

「オリンピック憲章」においてオリンピズムは、スポーツだけでなく、心身の成長、国際交流、平和な社会の構築などを目指す考え方として定められており、教育、倫理規範などにも及ぶものとして、開催国には、あらゆるレベルの学校等において、教育に関するプログラムを推進することをしている。藤沢市は会場関連自治体であるため、オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした教育活動を行っていく。

【過去大会や国等での取組】

2012年のロンドン大会では、オリンピック教育事業「ゲット・セット(Get SET)」, 2016年のリオデジャネイロ大会では、「Transforma」と名づけられた教育プログラムを実施。

また、文部科学省では、有識者会議において、オリンピック・パラリンピックの推進に向けた最終報告を取りまとめしており、大会組織委員会では「東京2020教育プログラム『よい、ドン!』」を全国で展開。

【策定目的】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオリンピック・セーリング競技開催に当たり、東京2020大会がもたらす感動や共生社会の推進をはじめとする効果を、子どもたちをはじめとしたすべての市民が享受できるよう、藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムを策定。

【対象期間】

平成30年度から平成32年度までの3年間とするが、それ以降も発展させながら継承していく。

【体系】

基本方針 藤沢市総合教育会議において策定された、本市の教育の基本理念である「ふじさわ教育大綱」を基本方針とする。

取組の視点 組織委員会が全国で展開している「東京2020教育プログラム『よい、ドン!』」が掲げる目標を視野に入れ、重視する視点を次の4点とする。

- A オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の理解
- B 多様性に関する理解
- C 国際社会への理解
- D 地域社会への理解

取組施策 未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会が掲げている取組内容から、関連が深い次の7項目とする。

- ① 気運醸成・スポーツ推進に関する取組
- ② ボランティアマインドに関する取組
- ③ 健康増進に関する取組
- ④ 文化芸術に関する取組
- ⑤ 環境に関する取組
- ⑥ 共生社会に関する取組
- ⑦ 安全・安心に関する取組

【具体的な実践方法】

取組施策それぞれに関連する事業例を参考事例集に掲載。**関係者の状況にあわせて、実施できるものを選択しながら行っていくこととする。**申込が必要な事業等は、一覧表にまとめて記載。この一覧表は適宜更新。実施した事業は、その後の取組にいかせるよう、実績を共有。
具体的な実践例は次のとおり。

<取組実績のある事業の実践例>

- 運動会や体育祭において、東京2020大会と関連付けた活動を取り入れ、気運を高めるとともに、フェアプレーやチームワークの精神を身につける。
- 「福祉」をテーマとした総合的な学習の時間において、障がい者疑似体験を通して、オリンピック・パラリンピックが重視する共生社会についての理解を図る。
- 海外の方々との交流に生かすことも想定し、音楽の授業で、和楽器に触れ、日本の伝統文化の良さを理解する。

<オリパラを契機とした新たな事業の実践例>

- 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室が実施する事業に参加する。
- 大会公式スポンサーが実施する出前授業に申し込み、各種取組を実施する。

学校教育における藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムについて

1 ねらい

本教育プログラムの実践を通して、本市の児童生徒がスポーツの価値や多様性、共生社会への理解を深め、心身ともに健やかに成長するための知識や態度、実践力を育む。

2 実施方法

- (1) 児童生徒の実態や地域の特性等を踏まえ、教育課程の中に位置づけて、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等において実施する。
 - (2) 内容に応じて、学級単位、学年単位、学校全体で実施する。
 - (3) 実施内容を年度末に一括して教育指導課へ報告する。教育指導課は各校からの報告を冊子にまとめ、全校で共有し、以降の取り組みに反映させる。
- ※ 東京2020オリンピック・パラリンピック教育認証事業として、公認マークを使用して実施することができる。

3 取組例（これまでのオリンピック・パラリンピック教育の視点を取り入れた取組）

- (1) パラリンピアンによる車椅子バスケットボール体験
(内容) パラリンピアンによる講話、車椅子体験、競技体験等
(対象) 小学校高学年～（学校規模によるが学年単位で実施）
(時間) 90分程度（総合的な学習の時間2コマを活用）
(場所) 体育館
(取組施策) ①気運醸成・スポーツ推進に関する取組
⑥共生社会に関する取組
- (2) 平和学習
(内容) 平和がテーマの教材による学習
(対象) 小学校中学年～（学級単位で実施）
(時間) 45分×10コマ程度（国語科、社会科等）
(場所) 教室

(内容) 語り部による被爆体験講話
(対象) 小学校高学年・中学校2年(学年単位で実施)
(時間) 45分 or 50分(総合的な学習の時間, 社会科を活用)
(場所) 体育館

(内容) 広島方面への修学旅行
(対象) 中学校2年～(学級・学年単位で実施)
(時間) 事前学習 50分×6コマ程度(総合的な学習の時間),
旅行当日 180分程度
(場所) 教室, 現地

(取組施策) ④文化芸術に関する取組
⑥共生社会に関する取組

4 その他

【学校に配布されている資料】

- ・スポーツ庁作成「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」
(冊子, DVD)
- ・神奈川県教育委員会作成「かながわオリンピック・パラリンピック教育学習教材」
(冊子)
- ・国際パラリンピック委員会作成「I'm POSSIBLE」(冊子, DVD)

社会教育における藤沢市オリンピック・パラリンピック教育プログラムについて

1 取組の視点

学校外で行われている社会教育に関する事業は、地域特性を活かしたり、多様な世代を積極的に取り込むことを得意としていることから、本教育プログラムにおいては、学校では体験できない内容に着目するとともに、多世代間の交流等、地域コミュニティの創造がレガシーにつながるような実践を推進する。

また、学校で行われる教育プログラムにおいても、社会教育関係団体を始めとした、地域の関係機関等との横断的な連携を意識しながら、多様なプログラム展開を図る。

2 取組例（詳細は裏面参照）

（1）オリンピック・パラリンピック関連スポーツ体験

（内容）ボッチャ、ボルダリング

（対象）主に小学生

（取組施策）①気運醸成・スポーツ推進に関する取組
③健康増進に関する取組
⑥共生社会に関する取組

（2）地域人材の発掘

（内容）おもてなしの英会話

（対象）市民一般

（取組施策）②ボランティアマインドに関する取組

（3）オリンピック・パラリンピックを学ぶ（知る）

（内容）オリンピック・パラリンピックの歴史に関する講演、映像資料上映、東京オリンピック・パラリンピック開催準備室職員による出張講座等

（対象）市民一般

（取組施策）①気運醸成・スポーツ推進に関する取組
④文化芸術に関する取組

オリンピック・パラリンピック教育の視点を取り入れた取組（平成29年度）

事業名	対象	実施(予定)期間	実施(予定)場所	主管課	取組 施策
オリンピック・パラリンピック関連スポーツ体験					
スポーツライミング体験教室 ～オリンピック種目ボルダリング に挑戦～	小学生	2017年8月5日	村岡公民館	村岡公民館	3
平成耕餘塾「夏休み子ども体験 講座ボルダリング」	小学生	2017年8月4日	明治公民館	明治公民館	3
パラリンピック正式競技ボッチャ を体験してみよう！	市民一般	2018年1月27日	明治公民館	明治公民館	3
ボルダリングにチャレンジ	小学生	2017年11月19日	長後公民館	長後公民館	3
子ども公民館～夏の陣～「大人 気！ボルダリング」	小学生	2017年8月7日	辻堂公民館	辻堂公民館	3
人権講座「パラリンピアンから学 ぶ」～勇気をもって自分らしく ～、ボッチャ体験	中学生以 上	2017年8月19日	善行公民館	善行公民館	6
ボルダリングに挑戦	小学生	2018年3月3日	善行公民館	善行公民館	3
ふじさわボッチャ競技大会	市民一般	2018年3月10日	秋葉台文化体育館	スポーツ推進課	1
地域人材の発掘					
オリンピックおもてなしの第一歩 ～英会話にふれてみる	市民一般	2017年11月10日 ～12月8日	片瀬公民館	片瀬公民館	2
おもてなし英会話～あなたの知 らない英語の世界～	市民一般	2018年2月6日・27 日	湘南台公民館	湘南台公民館	2
オリンピック・パラリンピックを学ぶ(知る)					
みんなで考えよう！東京2020 大会in 藤沢 ～私たちにできる こと～	市民一般	2017年8月19日～ 9月2日	藤沢市民会館 多摩大学湘南キャンパス	生涯学習総務課	1
わが街と四季の風Ⅰ～大型木 造帆船「やまゆり」で江の島の 海を散歩しよう～	市民一般	2017年7月23日	江の島周辺	六会公民館	1
若くならう学級公開講座「東京 オリンピックとふじさわ～2020年 大会に向けて～」	60歳以上	2017年9月28日	明治公民館	明治公民館	1
オリンピック・パラリンピック事業 を知ろう	市民一般	2018年2月4日	湘南台公民館	湘南台公民館	1
オリンピック・パラリンピックに関するポ スター・資料等の掲示	市民一般	2017年4月～	総合市民図書館	総合市民図書館	1
図書館所蔵のオリンピック資料の展示、 東京オリンピック映像資料上映会	市民一般	2017年4月～	総合市民図書館	総合市民図書館	4
共生社会への理解					
視覚障がい者向け立体エンブレ ムの製作	視覚障がい 者等、市民一 般	2017年4月完成	総合市民図書館	総合市民図書館	1
拡大文字版セーリング競技パン フレットの作成	高齢者・弱 視者等	2017年4月～	総合市民図書館	総合市民図書館	6